2014 年度点検・評価シート

Ⅰ　評価項目・担当部局

対象部局	アジア地域研究科
評価基準３	教員・教員組織【 Ａ 】
点検・評価項目(1)	3-1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
評価の視点	教員に求める能力・資質等の明確化
	教員構成の明確化
	教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
点検・評価項目(2)	3-2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
評価の視点	編制方針に沿った教員組織の整備
	授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備
	研究科担当教員の資格の明確化と適正配置
点検・評価項目(3)	3-3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
評価の視点	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化
	規程等に従った適切な教員人事
点検・評価項目(4)	3-4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
評価の視点	教員の教育研究活動等の評価の実施
	ファカルティ・ディベロップメント（ＦＤ）の実施状況と有効性
点検・評価項目(5)	3-5 教員組織の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

Ⅱ　点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

3-1	・大学の求める教員像は、学園規則で教員選考基準を定め、「人格が高潔で、学校教育に関し高い見識を持ち、かつ、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有する者」と謳っている。アジア地域研究科も、この方針に基づき同科の発足以来、的確な採用・昇格人事による教員組織・構成の明確化に努めている。 ・学位・予算委員会、教務・広報委員会、入試委員会、国際交流委員会、論集・院生研究報告委員会、ＦＤ委員会、認証評価委員会を設置し、研究科の運営にあたっている。 ・学生の教育に対しては、各科目に専任教員を配置している。
3-2	・2014 年 4 月 1 日現在で博士前期 16 名(研究生 3 名)、博士後期 3 名の院生に対して研究科委員(教員)は 29 名。従って教員一人当たりの院生は 0.65 名ということになる。 ・教員の年令構成は 61 歳以上 62.1%,51-60 歳 34.4%,41-50 歳 6.9%,女性教員は 20.7%,外国人教員は 3.4%となっているが授業科目と担当教員の整合性がはかられ担当資格の明確化と適正な配置が行われている。 ・専任教員一人当たりの院生数は少なく、きめ細かな指導を行うことができ、教育効果をあげやすくなっている。 ・研究科運営委員会が定期的に授業科目と担当教員の適合性を判断するとともに、研究科委員会はさらに運営委員会の判断を審議するという仕組みを整備している。
3-3	大学院教員については全員が国際関係学部所属教員であるが教育研究上の能力、業績等に留意した規程(アジア地域研究科教員選考基準・内規)に沿って適切に選考・審査が行われている。
3-4	2011-3 年度にかけて、教員と学生を対象とするアンケート実施し、教育の効果と改善点などを確認している。
3-5	・年度ごとの自己点検・評価において検証している。また、ＦＤ委員会による学生へのアンケート調査も実施している。 ・毎年４月に運営委員会で教員組織の点検を行い、必要な教員の募集・採用・昇格を研究科委員会に提案している。承認された場合、研究科委員会の教員選考基準および内規に従い審査が行われ、最終的に研究科委員会で表決される。

【効果が上がっている事項】

3-1	
3-2	授業科目と担当教員の整合性を学部教授会、大学院研究科委員会において毎年度、検証している。
3-3	国際関係学部、アジア地域研究科において教員選考基準および内規を定め、選考の方針を明らかにしている。
3-4	
3-5	

【改善すべき事項】

3-1	「求める教員像および教員組織の編制方針」を定める必要がある。
3-2	

3-3	
3-4	「認証評価アンケート」をはじめとする FD 活動を更に推進する必要がある。
3-5	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

「大学基礎データ」(表 2)全学の教員組織ほか

《指標データ》

大学基礎データ（表２）全学の教員組織

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S：完全に達成」　「A：概ね達成」　「B：やや不十分」　「C：不十分」　で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの		評価				
				2014	2015	2016	2017	2018
中期目標(2014～2018)	3-4　ＦＤ活動のさらなる推進	報告書を作成し、ＨＰ等にて開示する。	→					
	3-1　「求める教員像および教員組織の編制方針」を作成する。	「求める教員像および教員組織の編制方針」が作成される。	→					
14 年度目標	3-4　ＦＤ活動をより効果的に推進するための具体案を検討する	具体案を検討し、その結果を研究科委員会に報告する。	→	A				
	3-1　「求める教員像および教員組織の編制方針」の検討を開始する。	「求める教員像および教員組織の編制方針」検討の進捗状況を研究科委員会に報告する。	→	A				